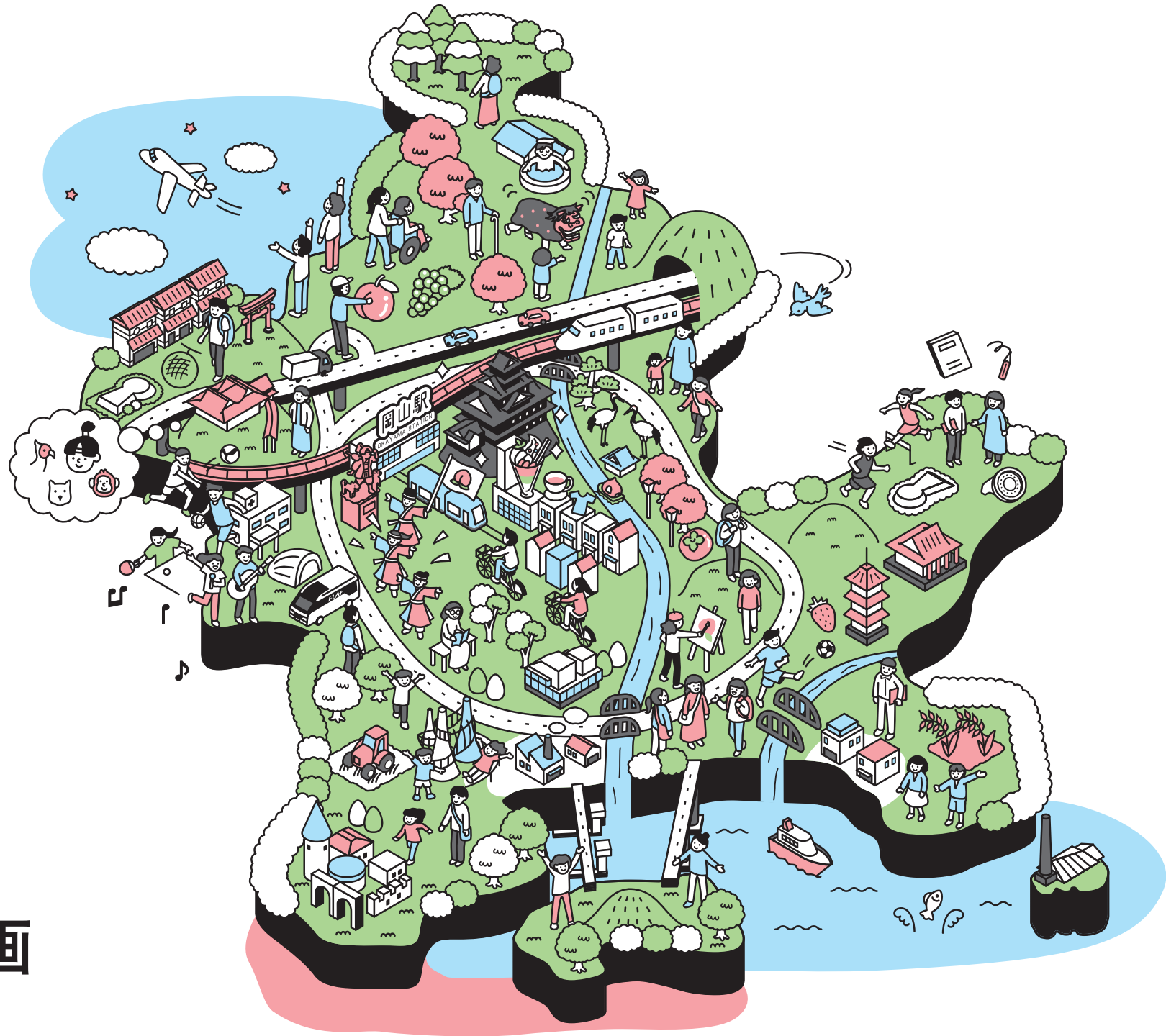


”わくわくする“
桃太郎のまち岡山



岡山市
第七次
総合計画

はじめに

このたび、岡山市の都市づくりを総合的、計画的に進めていくための指針として、岡山市第七次総合計画長期構想及び前期中期計画を策定しました。

策定に当たっては、市議会や基本政策審議会において、真摯なご議論をいただくとともに、ワークショップやパブリックコメントを通じて、市民の皆様のご意見をお伺いしながら、進めてまいりました。計画策定にご尽力いただきました皆様に心から御礼を申し上げます。

これまで第六次総合計画では、まちの「躍動感」の創出をキーワードとし、喫緊の課題であった保育の待機児童の解消、学力の問題など子育て・教育環境の充実をはじめ、まちの活力創出、地域振興、健康・福祉や安全・安心の充実など、あらゆる分野で直面する課題の一つひとつ克服し、市民の最大幸福の実現と都市の持続的な発展に向けた「変化」を創り出してきました。

こうしたまちの変化は、都市の総合力を示す市内総生産の高い伸び率などに表れており、岡山市は、既に高い評価を受けている「住みやすさ」に加え、経済面でも順調に成長し、中四国さらには西日本をけん引する政令指定都市として大きく発展を遂げたと考えています。

一方で、「岡山市には、今一つわくわく感が足りないのではないか」、という声もいただいております。また、東京一極集中が加速する中、若者や女性にも選ばれ、誰もが住み続けることに誇りを持てるまちづくりが一層求められており、チャレンジするすべての人の後押しや、人と人とのつながり、まちの楽しさなどをより充実させていく必要があります。

こうしたことから、第七次総合計画では、めざす将来都市像に「わくわく感」を盛り込んだところです。これまでまちづくりを進める上で大切にしてきた、暮らしやすさ、力強い都市の成長、安全・安心の三つの要素に磨きをかけながら、まちの「わくわく感」をより高めていくことにより、都市の総合力を一層高め、愛着と誇りの持てるまちをめざしてまいります。

「“わくわくする”桃太郎のまち岡山」の実現に向けて、ともに考え、ともに歩みを進めてまいりましょう。皆様方の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。



令和8年3月
岡山市長

大森 航夫